

広報おんな

平成10年4月発行 (No.207) 恩納村 総務課 TEL(098)966-8006



想い出と希望を胸に新たな出発



恩納村満“90,,歳

明治41年4月1日誕生

青と緑の豊かな活力ある村

村のひと (2月末日)

男	4,778人	(+1)
女	4,558人	(+2)
計	9,336人	(+3)
世帯数	3,067世帯	(+8)

- ◆平成10年度施政方針
- ◆むらの話題 第23回恩納村歩け歩こう大会
食のふれあい交流会
ふれあい植樹デー開催
村内小中校卒業式

第6回恩納村シャフルボード講習会・大会

シャフルボードの個人対個人のゲームの楽しさと奥深さの魅力を得ることと伴に、住民の体力向上と、親睦を図る。

1. 主催 恩納村教育委員会
2. 主管 恩納村体育指導委員

講習会

- 日時 平成10年4月11日(土)
午前10時～午後12時 初心者
午後2時～午後4時 経験者
- 場所 村コミュニティセンター
- 申し込み 当日会場で受け付けます。
初心者 午前9時～午前10時
経験者 午後1時～午後2時

大会

- 日時 平成10年4月12日(日)
午前9時開会式
- 場所 村コミュニティセンター
- 参加資格 恩納村に住所及び本籍を有する村民。
但し以前に講習会を受講した者とする。
- 申し込み 平成10年4月9日(木)午後5時までに村教育委員会社会体育係へ申し込み用紙と保険料を添え区長をとおりお申し込みください。但し定員56名になりしだい締切ります。



少年による刃物使用の犯罪を防止し、安全な社会づくりと青少年の健全な育成を図るため

家庭では

保護者は、刃物携帯の危険性を認識し、日頃から、子どもの持ち物などに関心を持ち、命の大切さと暴力は決して許されないこと及び正当な理由のない刃物携帯が法律で禁止されていること、刃物の正しい使用方法や危険性について教えて下さい。

地域では

少年が、正当な理由なく刃物を携帯することは、法律で禁止されていますので、自治会、育成会等の活動の場を活用して、正当な理由がある場合のほかに、少年に刃物を「持たない」「持たせない」ための地域ぐるみの機運を盛り上げて下さい。

販売店では

正当な使用目的のない少年への刃物類の販売は、時として犯罪を助長するおそれがあるので、正当な使用目的のない少年への刃物類の販売を自粛し、販売するときは、保護者同伴又は年齢や使用目的を確認し、保護者の同意を得てから販売して下さい。

また、正当な理由なく刃物を携帯することが、法律で禁止されていることを少年に指導、教示して下さい。

沖縄県・沖縄県警察本部

もう一度大空へ鯉のぼり寄贈のお願い

村保健福祉課では、子どもたちに夢と希望を与えるため、皆さんの自宅に眠っている鯉のぼりを集めて、もう一度大空で泳がせる計画を予定しています。一式揃わなくてもよいので(一匹だけでもよいです。)使っていない鯉のぼりがあれば各字公民館、役場保険福祉課へ届けて下さい。(平成10年4月25日の掲揚を予定しています。)

お問い合わせ先
恩納村保健福祉課保育所係
☎098-866-8001

公営住宅制度が変わりました。

新公営住宅制度

新公営住宅制度は、みなさまの目々に直接関わる大切な制度です。その趣旨をご理解いただき、よりよい公営住宅の実現にご協力をお願いいたします。

●家賃制度について

家賃は、入居者の収入や住宅の立地条件、規模築年数等の便益に応じて、毎年度、個々に算定します。

退職等による収入の減少や住宅の利便性の格差にも柔軟に対応します。

●収入申告について

収入の増減に応じた適切な家賃を設定するため、入居者の方々は、毎年度、収入の申告をしていただくことになります。

●入居者資格について

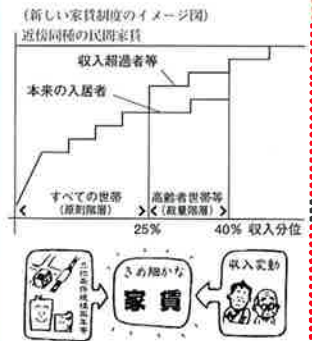
第1種、第2種の種別区分が廃止され、一定額以下の収入であれば、どの公営住宅へも入居できるようになります。また、高齢者世帯や障害者世帯の入居者資格が緩和され、公営住宅へ入居しやすくなります。

●福祉への対応について

社会福祉法人等による公営住宅の使用を認め、障害者の共同生活を支援するためのグループホーム事業へ利用するなど、福祉への対応を強化しています。

●新制度の適用について

既存の公営住宅の場合については、新しい家賃制度や入居者資格など管理に関する規定は、平成10年4月1日から適用されます。平成8年度以降の予算でつくられた公営住宅については、供給開始とともに新制度が適用されます。



新制度に関するご質問・お問い合わせは

恩納村建設課 計画管理係 966-8511

家出少年を発見したら速やかに通報しましょう。

家出少年発見保護活動月間平成10年3月16日～4月15日

例年、学年末から新学期にかけての時期は、春休みの開放感や進学就職等に伴う環境の変化等による心理的な動揺のため、少年の家出が増加する傾向がみられます。

このようなことから悪質な事件に巻き込まれる以前に、家庭での躾、我が子の行動に関心を持ち、また、家出少年等の被害の未然防止と被害が軽微な段階に早期保護を図る為に、地域の協力と家出少年を発見したら速やかに通報をお願いします。

石川警察署、恩納村

青年海外協力隊員募集説明会

- ▽日程：平成10年4月23日(木) 18:30～
沖縄市老人福祉センター(かりゆし園) 沖縄市
平成10年4月24日(金) 18:30～
名護市立中央公民館 名護市
- ▽内容：派遣のシステムや待遇等について詳しく説明します。また、協力対広報映画の上映や隊員OB・OGの体験発表もあります。入場料、予約等は一切不要です。お気軽にどうぞ。
- ▽詳細問い合わせ：国際協力事業団沖縄国際センター
☎098-876-6000
沖縄県総務部知事公室国際交流課
☎098-866-2479

恩納村制施行90周年記念功労者

氏 名	年齢	住 所・所 属
自治功労部門		
當 山 幸 徳	89	安富祖44
大 城 保 晴	77	恩納2528
仲 嶺 康 輝	89	浦添市経塚209-1
當 山 正次郎	87	谷茶62
大 城 勝 保	80	仲泊33
宇江城 安 忠	75	喜瀬武原356
宮 平 安 徳	61	真栄田1479
仲 本 克 一	77	山田125-1
玉 城 盛 吉	80	恩納6497-1
當 山 安 信	63	瀬良垣492
外 間 現 録	72	喜瀬武原416
富 着 和 三	80	富着207
喜 納 福 常	75	富着216-1
長 浜 長 儀	70	真栄田692
大 城 保 繁	63	恩納3476
當 眞 嗣 長	67	恩納2363
産業経済功労部門		
平安名 盛 文	71	前兼久1009
久 場 興 徳	71	安富祖1261-2
横 山 修 二	72	前沖縄大京社長
国 場 幸一郎	65	ホテルムーンビーチ社長
安 田 晃 次	66	沖縄全日空リゾート(株)会長
大 城 保 三	66	恩納2822-3
伊 波 邦 夫	68	恩納3460-1
当 山 安 秀	61	瀬良垣254
津波古 眞 幸	71	恩納2505
當 山 慶 信	77	安富祖54
仲 村 兼 昭	70	富着169
當 山 正 忠	81	谷茶41
仲 田 文	72	名嘉真99
宜志富 佳 子	72	安富祖1249
金 城 清 子	68	安富祖143
社会功労部門		
松 田 豊太喜	66	仲泊22
宮 平 明 緑	78	真栄田1518
祖 慶 良 秀	71	山田3027
屋 良 朝 雄	63	山田2675-1
教育功労部門		
仲 嶺 眞 助	67	名嘉真2231
松 田 寿 保	74	仲泊63
外 間 現 行	67	石川市石川2796-1
當 山 正 男	77	具志川市字安慶名412
知 念 仁 幸	65	宜野湾市我如古333
仲 本 實	64	那覇市首里平良町1-11
渡久地 繁	75	名護市字名護2806-34

恩納村誕生時と現在の人口比較

明治38年12月末日 平成10年2月末日

(誕生時の資料無し)

男	2,622人	4,778人
女	2,863人	4,556人
計	5,485人	9,333人
世帯数	1,094世帯	3,067世帯



恩納村長 比嘉 茂政

本村は、明治四十一年四月一日の沖縄県及び島嶼町村制の実施により恩納間切から恩納村としてスタートしてから今年で九十周年を迎える意義深い年であります。

昭和二十年の第二次世界大戦の終結と共に沖縄と本土の行政分離により二十七年間の米国統治から日本復帰という一大転換期には、ドルと円の切り替えによる経済不安や交通方法の変更やさらに行政制度の本土への移行等、数々の不安を克服し、社会基盤の整備、村民の福祉の充実、教育文化の振興、産業経済の発展、更に自然を守り生かす村づくりのなかから全国的にもリゾー ト先進地としての役割を担う等大きく躍進を遂げて参りました。この偉業は、歴代の執行及び議決両機関のたゆまざる努力とそれを支えてこられた村民の惜しみない協力の賜物であり、先人諸先輩のご苦労 に対し、改めて深甚なる敬意を表し感謝を申し上げます。

現在、本村は「青と緑の豊かな活力ある村」を基本とし、平和と発展ある振興を図りながら二十一世紀への飛躍を目指し村発展のため鋭意努力して参る所存です。

関係各位の皆様方には、これまで以上のご協力とご指導を賜り、よろしくお願い申し上げます。



▲現庁舎は、昭和33年から業務が行われており、今年の10月には、新庁舎建設の着手を予定しています。



▲戦前の恩納村役場

恩納村満90歳

明治41年4月1日誕生

恩納村が生まれてから、今年で九十年になります。この四月一日に恩納村は、満九十歳の誕生日を迎えました。

●恩納村誕生までの移り変わり

恩納村の名称は以前、恩納間切、又は恩納郡と呼ばれていました。恩納間切(郡)は、球陽の記事によれば、尚貞王五年(延宝元年、一六七三年)に、金武間切からの四村(名嘉真、安富祖、瀬良垣、恩納)と読谷山間切からの八村(与久田、塩屋、真栄田、読谷山、久良波、仲泊、前兼久、富着)の十二村によって成立されました。今から三百二十五年前のことです。番所は恩納におかれ、明治に入り山田村に久良波村、真栄田村に塩屋村が合併されました。明治十二年の廃藩置県によって琉球藩は沖縄県となり、読谷山は後に山田と改められました。明治三十年(一八九七年)の行政改革により番所が間切役場に改められました。恩納間切が恩納村となったのは明治四十一年(一九〇八)に定められた法律によって、間切が「村」に、村が「字」に改められ、恩納村が誕生しました。このような改変は恩納村だけでなく、沖縄県全体に及びました。

(恩納村誌より抜粋)

平成10年度のむらづくり

今年のむらづくりの方針を示す、平成10年度施政方針及び平成10年度一般会計予算等が平成10年三月十日から二十七日まで行われた第二回恩納村議会定例会で審議され、議決されました。

今月号は、比嘉茂政村長が初日に行った施政方針の具体的な概要と予算の内容をお知らせします。平成10年度の恩納村のむらづくりがどのような行われるか村民の皆様も一緒に考えてみましょう。



平成10年度施政方針

- 1 はじめに
- 2 財政運営
- 3 庁舎建設事業
- 4 仲泊内海整備計画
- 5 基地の跡地利用計画
- 6 教育、文化の振興
- 7 経済の振興
- 8 住み良い生活環境の整備
- 9 村民福祉
- 10 国民年金
- 11 健康づくり推進事業
- 12 国民健康保険
- 13 老人保健
- 14 おわりに

地建設市民投票、名護市長選挙等が行われました。本年度も基地問題を中心に、難問が山積している状況にあります。

さて、平成10年度の村政運営の基本施策については恩納村第三次総合計画、後期基本計画（平成九年度～十三年度）に基づきおこないます。また「新リストラ指針」についても、地方自治の確立を目指し、地域住民一体となって住み良い、創造性豊かな「村」づくりを推進いたします。

以下、具体策について申し上げます。



1、はじめに

平成10年度第二回恩納村議会定例会の開会にあたり、平成10年度一般会計予算案をはじめ、諸議案の説明に先立ち、平成10年度の村政運営の基本姿勢と所信の一端を申し上げ、議員各位並びに村民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

いま国際社会においては、冷戦構造の終焉に伴う新たな世界秩序の構築に向けて、各国間の対話と協調がますます重要となっております。このような国際情勢の中、我が国はアジア、太平洋諸国との信頼・協力関係を深め、これらの地域の平和と安定に積極的な貢献を果たしていくことが求められています。

一方、国内の状況を見た場合、バブル崩壊の影響を受け国民を取り巻く経済構造は厳しくなっております。昨年は、財政構造改革法、介護保険法等が成立し、自治省から地方行革推進のための新たな指針（新自治体リストラ指針）が出されました。今回の指針は国の行財政改革（橋本六次改革）のもとでの行革指針である所に大きな特徴があります。

次に県内の状況は、日米特別行動委員会（SACO）の合意により、県道一〇四号線越えの米軍実弾砲撃演習の本土への分散、移転がようやく実現したほか、基地の整理縮小に伴う普天間基地返還代替海上ヘリポート基

創造性豊かな「村」づくりをめざして 平成10年度一般会計予算 62億5,088万円

2、財政運営について

国の財政は、国債費が政策的経費を圧迫するなど危機的状況にあることから、国の一般会計においては、公共投資のマイナス七%以上の縮減等「一切の聖域なし」で歳出の改革と縮減を進め、一般歳出を対前年度比マインナスとすることを目指し、特例公債依存から脱却すること等を内容とする財政健全化目標を閣議決定（平成九年六月三日決定）し、それに沿って行財政改革が推進されているところであります。

その中で、赤字財政脱却のための方策として、地方財政に対しても厳しい歳出削減対策を打ち出し、特に、平成10年度では、公債費を除く一般歳出を前年度比マインナスとすることと盛り込み、投資単独事業を抑えることで地方自治体の歳出を抑制する方向を明確に示されています。

村の財政構造は概ね良好な状況にあるものの、平成10年度の事業計画は、庁舎建設事業を始め仲泊内海埋立工事等、大型単独事業が計画されていることから収入財源の確保が厳しい現状にあり村民の旺盛な財政需要に応えるためには、経常経費の抑

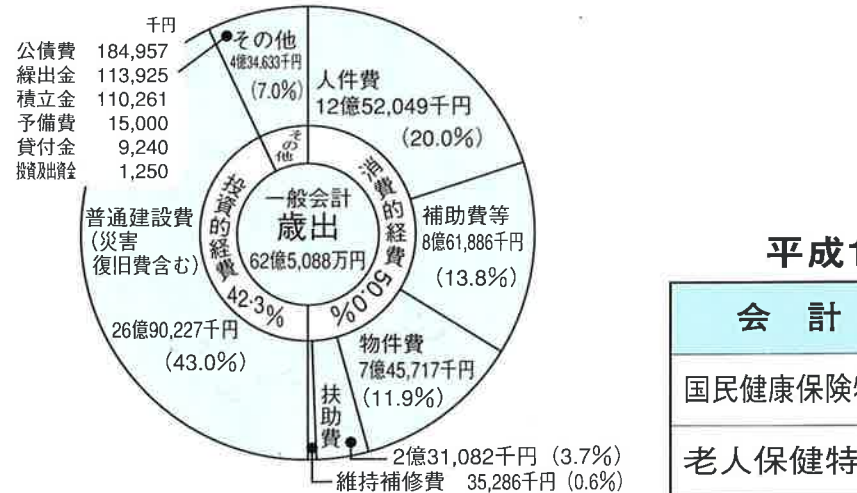
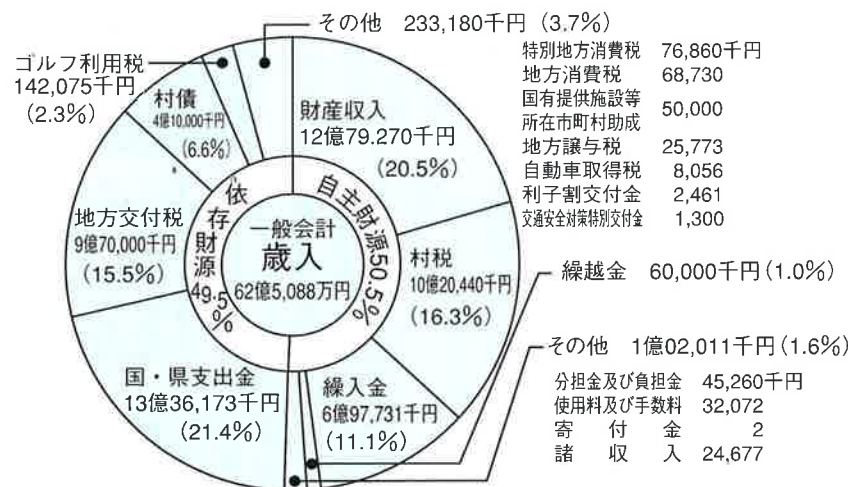
制に努め団体補助金等の見直しを図る必要があります。

「地方分権の時代」が叫ばれている今日、それに対応するためには、これまでの事務事業をただ単に踏襲するのではなく、それぞれの事務事業を見直し最小の経費で最大の効果をあげるよう努力し、組織・構造の見直しを図っていく必要があります。

平成10年度は、投資的単独事業の大幅な伸びにより厳しい状況が予想されることから「恩納村第三次総合計画」の後期基本計画に添って、事業の優先順位を選択を行い諸経費の削減合理化に努め、今後の厳しい財政運営に対処し、諸事業を推進できよう鋭意努力してまいります。

平成10年度特別会計予算 千円

会 計 名	予算額	前年度対費
国民健康保険特別会計	754,948	2.5
老人保健特別会計	744,728	21.8
上水道事業特別会計	685,856	△0.8



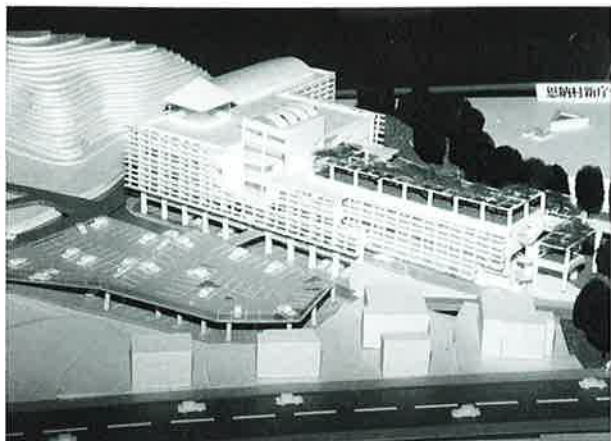
村民のシンボルとして

平成10年10月に新庁舎建設着手

3、庁舎建設事業について

新庁舎建設事業は、第三次総合計画の二十一世紀を展望した「青と緑の豊かな活力ある村」づくりの拠点施設としての重点施策であります。

平成九年度は、基本設計及び公有財産購入の予算に基づき事務を進めてまいりました。特に、公有財産購入につきま



し、地権者のご理解とご協力により、潰地買上げの同意を得る事が出来ました。又、設計につきましては、沖縄県建築士会に設計競技を委託し、県内の一級建築士を対象に募集を致しましたところ、七十八点もの力作が応募され、厳選なる審査により最優秀作品が選定され村民の皆様へ一般公開を実施することが出来ました。

その後、基本設計については恩納村庁舎建設基本構想に基づき、庁舎建設策定委員会及び庁舎建設委員会を開催し、設計協議の事務を進め、平成十年三月末までに基本設計をまとめ、今年度は、いよいよ新庁舎建設に着手する年になります。新庁舎の規模としては、延べ床面積が五、五四一平方メートルで、地下二階、地上三階の五階建て、現庁舎と比較しますと二、七倍に拡張する計画であります。

特に、平成十年度は、恩納間切以来、三二五年経過し、村制施行九〇周年の記念すべき年でもあり、新庁舎の建設は、村民の英知と協力をあおぎ夢のあるシンボル行政棟として、一日も早く完成を目指したいと思っております。

4、仲泊内海整備計画について

恩納村南部の地域活性化の拠点づくりとして、仲泊内海を本年度も継続整備致します。仲泊内海を拠点とする同地域は平成七年六月九日付け、国による「歴史国道」整備事業の対象地区として選定を受け、歴史の道や遊歩道、休憩所等の整備計画も村と国の間でひとりの協議を終え、国においては平成九年度事業として、護岸の改修工事に着手しております。

又、村においては公有水面埋立免許願書を出願し、施設については、村立博物館の基本設計を完了致しました。本年度は埋立工事に着手し、村立博物館の実施設計及び農林水産物、村の特産品展示販売施設や道の駅構想等の実施に向け、関係機関と協議を進めてまいります。

5、基地の跡地利用計画について

地域振興を図る上で制約要因となってきた広大な米軍基地は、県土の一〇％、本島の二〇％を占めており、そのため県では西暦二〇一五年迄に米軍基地の全面返還を求める基地返還アクションプログラムの「国際都市形成構想」を策定し、経済の自立的発展を図ることを目指しております。

しかしながら、基地雇用や地料、その他関連産業への経済的効果も大なるもの



があります。本村においても県の計画との整合性を図りつつ基地の整理縮小に伴う跡地利用計画を推進してまいります。なお、恩納通信所跡地利用計画については、検討委員会からの答申を受け、地権者等との話し合いにより推進していきたいと思っております。

創造性・積極性・国際性に 富む人材の育成を

6、教育、文化の振興について

本村の子供達が変化の激しい社会を生き抜く力を育むため、個性尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りをもち創造性、積極性、国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を期して、次のことを目標に教育施策を推進してまいります。

一点目に「自ら学ぶ意欲を育て、知、徳、体の向上を目指すとともに、発表力とねばり強さをもつ児童生徒の育成を図る」。二点目に「平和で活力ある社会の形



成者として、豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力を培い、郷土文化の継承発展に寄与する村民の育成を図る」。二点目に「家庭、学校、地域社会、行政の連携のもとに、社会の変化に対応し得る教育方法を追求し、生涯学習社会への移行を図る」。

その主な新規の具体策は次のとおりであります。

(1) 学校教育について

① 学校教育については、恩納小中学校校舎新増改築工事、安富祖幼稚園園舎新増改築工事、山田幼稚園園舎新増改築工事に着手いたします。

② 仲泊小学校を文部省指定人権教育研究指定校に指定し、人権意識を培うための教育の在り方について、幅広い観点から実践的な研究を行い人権教育を推進します。

(2) 生涯学習の推進について

近年は、高度情報化や技術革新に加えて国際化、高齢化等と社会情勢の変化も著しく、それとともに村民の行政需要も多種多様に変化し、それに適切に対応していくことが社会教育行政の大きな課題となっております。余暇時間の増大とともに、幼児期から高齢者までの生涯各時期

の多様化する学習ニーズに対応する学習機会の拡充を図るため、生き生き学級、シルバー学級、青年教室、家庭教育学級、自治公民館講座、文化講演会等を実施いたします。

(3) 社会教育団体等の研修育成について

団体活動を推進するためには、行事遂行に必要な専門的知識と技能が要求されます。そのための指導者、育成者研修の充実に努めます。婦人指導者、青年リーダー、子供会リーダー等の研修会を実施いたします。

(4) 人材育成について

社会の変化に対応し各界で活躍し得る人材の育成を図るため、国際交流事業及び中学生、高校生を対象に、アメリカ、カナダのサマースクールへの派遣助成等を実施いたします。

(5) 青少年の健全育成について

常に体験的に学び、自己変革をしなればなりません。その動機づけの場を提供し、規律ある団体生活を通して自主性、協調性を養い、視野を広めることによりたくましく生きる青少年の育成を図ります。

サバイバル体験学習、勤労体験学習会を実施いたします。

(6) 文化の振興について

今日の社会的背景を反映して、芸術、文化活動や精神的豊かさに対する村民のニーズも高まり、適切に対応するためには優れた芸術文化に接する機会の拡充や各種文化事業の推進に努めるとともに、村民の主体的文化活動の活性化を図り、文化団体の育成、情報提供に努めます。恩納村文化展、恩納村文化祭、青少年劇場、



小公演を実施いたします。

なお、村立博物館建設については、平成九年度において基本設計を完了いたしましたので、平成十年度から新規に学芸員を採用して、文化財の保存活用にも努めます。

(7) 保健体育の振興について

健康や体力は人間生活を営む上での基礎であり、明るく住み良い地域社会づくりの原動力でもあります。年々多様化する村民のニーズに対応するため、村民の健康と体力の維持、増進と指導者の育成、指導体制の確立を図るため、研修会、講習会、スポーツ教室等の開催を実施いたします。

うんな農業まつりを格上げし 12月に冬のまつりを開催 農水産加工物・観光物産等を一堂に展示即売

7、経済の振興について

(1) 農業振興について

我が国の農業、農村を取り巻く状況は、農業従事者の減少、高齢化の進行、山村等における過疎化の進行等大きく変貌しており、また昨年からのウルグアイラウンド農業合意が実施に移され、新たな国際措置の下で厳しい環境に置かれることとなりました。

このような状況の中で、力強い農業構造と活力ある農村地域を形成するために次の事業を推進してまいります。

①地域環境とも調和のとれた農業生産基盤の整備促進等構造の改善を推進します。

②サトウキビを中心とする土地利用型農業の体質強化と生産性向上による低コスト農業の実現に努めます。

③園芸作物、熱帯果樹等を中心とした施設型農業の積極的拡大と高度な栽培技術に基づく高品質、高収益農業の実現と特産地の形成に努めます。

④農業経営基盤強化促進事業を推進致します。

この事業は近年、農業を取り巻く社会的、経済的環境の変化に対応するため、認定農業制度の普及定着を図り、認定農業者を育成するとともに、認定農業者等への農用地の利用集積を促進し経営感覚に優れた効率的かつ、安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担うような農業

(2) 農業の基盤整備について

農家の所得向上と生産性の高い亜熱帯農業を確保するため、土地改良事業を積極的に推進してまいりましたが、平成九年度の団体営宇加地区農地造成事業の竣工をもって、村内全域の土地改良事業がほぼ、終了することになりました。

平成十年度事業としては、宇加地区の換地業務を始め、県営喜瀬武原地区畑地灌漑排水事業や、団体営都田地区、団体営太田地区の畑地灌漑排水事業を実施いたします。又、農道につきましましては、農業の振興を図る地域において、農道網の有機的かつ合理的な整備を図るため、砂利舗装で勾配のきつい箇所や、不陸の多い所を修正し、道路維持管理を重点的に整備するとともに、平成十年度も引き続き防衛施設局の調整交付金事業で、利用度や緊急性等に配慮しつつ、団体営太田農道舗装工事他三路線の改良舗装を行います。

さらには、伊場土地改良総合整備事業で、赤土流出防止対策の一環として、沈砂池や土砂溜枥等の仮設工を設置しましたが現在、赤土の流出がなく、初期の目的が十分に達成されましたので、平成十年度で、仮設工を撤去し、沈砂池や土砂溜枥の埋戻し工事を実施し、生産性の向上に努めます。

(3) 林業振興について

本村の森林面積は村土の六一%を占め、そのうち七割は村有地で、私有地は三割となっております。村有地においては村土の保全及び水源涵養保全林となっており有用樹種の造林や天然林の改良、治山事業等を積極的に推進します。

林業構造改善事業においても、県民の森内に地域産物加工販売施設を計画しており林産物の販売及び地域農産物等の販売促進にも努めてまいります。

又、地域住民の生活環境保全を進めるために防風林造成事業及び保安林改良事業を継続的に実施すると共に地域の緑化・村土保全に努めます。村苗畑においては造林、緑化木、防風林、農地防風林用苗木及び草花の苗を生産供給してまいります。

(4) 水産業振興について

本村の水産業は、恵まれた海域環境と漁業組合を中心とする漁民の皆様の努力によりまして、以前に比べ漁家経営はかなり改善されてまいりました。

とりわけ、他に先駆けて推進した藻類の養殖事業は、モズク・ヒトエグサ・海ぶどうと優れた産品を創出し、その技術は高く評価されています。

しかしながら、漁業資源の減少や輸入海産物の増加等、その環境はまだまだ厳しい状況に変わりなく、漁業技術や生産性の向上の外、従来の獲るだけの漁業からつくり育てる漁業への展開等新たな取り組みが必要となっています。

いうまでもなく、水産業は農業と共に村産業の柱とも言うべ



き重要な産業でもあり、その育成、強化は村行政の重要な責務であります。村では、これまでも漁業基盤整備のため漁港や生産性向上のための各種陸上機能施設を整備してきましたが、平成十年度においても構造改善事業を導入し、恩納漁港に漁民の要望の高い荷捌施設を整備するほか、漁場保全のため異常発生したオニヒトデの駆除を実施いたします。尚、今年度から島田懇談会の資金を活用して、活力ある地域経済をめざす産業の振興として観光連携型養殖場の整備を進めてまいります。

この事業は恩納村をメインに北部離島を結ぶ四村を連携しての事業計画であります。また、平成六年度に策定された恩納村漁業活性化計画「美海」の円滑な推進を支援してまいります。



の一環として、引き続き植栽工と東屋等の整備を致します。さらには、真栄田漁港東護岸及び埋立工事(村単)も実施致します。

(6) 商工観光の振興について

昨年まで長引く不況と円高基調による海外との競合の激化などで厳しい状況にあった沖縄県の観光・リゾート産業も、県を上げての取り組みが功を奏し、観光は入り込み客数三八五万人と前年比一二%の大幅な伸びを見せております。県に於いては、平成十年度の観光客の招致目標を四一〇万人に想定し、その達成に強い自信をみせておりますが、金融不安を根拠とした不況はなお混迷を深め、先の見えない状態の中で、その目標の達成のためには、市町村レベルでもさらなる努力が必要であることはいうまでもありません。

本村においては、昨年度は低迷気味の観光に活力を与える観点から、各種イベントの開催、旅行情報誌を活用した広告宣伝事業、花いっぱい運動や体験学習の展開など、村民参加型の観光リゾート村の形成に向けて、数々の施策を展開してまいりました。

そしてこのような施策が功を奏し、平成九年度の観光宿泊者数は一六五万人と対前年比八・七%と大幅な伸びを示しております。中でも、商工会を中心として実施した体験学習は、旅行代理店や本土の高校との連携を密に実施したことにより、相当な効果を挙げておりまして、大



きな誘客のメニューとしてさらなる展開が望まれています。

新年度におきましては、本村観光の発展を目指して、誘客イベントの開催、テレビや旅行情報誌等のマスメディアを活用した広告宣伝事業、体験学習事業、ポードセーリング、ビーチサッカー競技の実施、体制強化のための花いっぱい運動などのCGG事業をはじめ九年度において策定した観光振興計画中短期行動計画の推進に全力で取り組んでまいります。

(7) 産業振興における産業まつりの開催について

「青と緑の豊かな活力ある村」づくりを目指し、村民総意のもと村がその一環として取り組んでいる「うんなまつり」は夏のまつりとして位置づけ、現在行われているうんな農業まつりを一段格上げして、冬のまつりとして位置づけ、農産物、水産物、加工物、お土産品、観光物



産等を一堂に展示、即売し、村内外にアピールすると共に農林漁業、商工業、観光産業の振興発展と共に村民、各生産者、観光事業所等の親睦と融和を図り、地域産業の発展に寄与するため十二月頃に実施したいと思っております。

公営住宅ニーズに応え 安富祖区に村営団地建設

8、住みよい生活環境整備に ついて

(1) 村道について
村内における安全かつ円滑・快適な道路交通環境を確保するため、石粉舗装で路面が侵食されている路線の整備を図るため、平成十年度は、現農道である黒崎原農道を村道に認定し、村道黒崎原線として改良舗装工事を実施いたします。

さらに、主要路線の維持管理と併せて、道路台帳の整備をおこなうと共に村道占有徴収条例に基づき適正な道路管理業務を推進してまいります。



(2) 砂防ダム及び河川について

荒廃し、裸地化の進んだキャンプ・ハセン等演習場内に貯留型砂防ダムを建設し、赤土流出による障害を防止する目的で、平成十年度、防衛施設局の委託工事を受けて志嘉座貯留型砂防ダムの工事を実施いたします。又、頻発する水害・河川の氾濫による土砂災害に対処し、村民の生命、財産を守ると共に、河川本来の自然環境の保全や周辺環境との調和を図りつつ、地域整備と一体となった、良好な水辺空間の形成を図ることを目的に、平成十年度も引き続き防衛施設局の補助事業で垂川改修工事を実施いたします。

さらに、河口閉塞により、日常的に汚水が滞留し、衛生的に好ましくない箇所を優先して村内数カ所の改善を図ってまいります。

(3) 公営住宅の整備について

村は、真に住宅に困窮する低所得者や高齢者・障害者などの居住と居住水準の向上のために、より良好な居住環境を備えた、公営住宅を的確に供給することを目的に、これまで五団地の村営住宅を建設してまいりました。これからの村民の多様なニーズに応えるために平成十年度は村営安富祖団地建設工事を実施いたし

ます。

(4) 下水道について

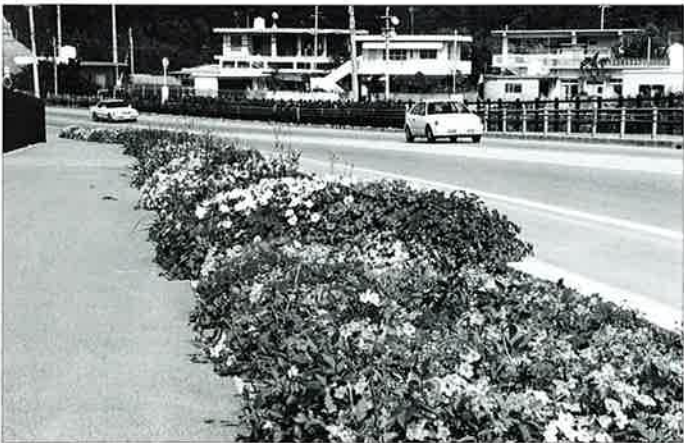
村民の快適な生活を営むため、地域の衛生、生活環境の向上を図り、併せて観光地としての公共用水域の水質保全に寄与するため、集落における尿尿、生活雑排水などの汚水、汚泥を処理する施設を整備する必要があります。近年下水道処理施設の近代化により、集落単位での事業が可能となり、特定環境公共下水道、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、コミュニティ・プラント、合併浄化槽の選定をして平成九年度に恩納村生活排水処理基本調査設計を実施しておりますが、これに基づき本年度も継続し、各行政区毎に説明をし、ご理解を得て、事業実施に向け鋭意努力してまいります。

(5) 環境衛生について

本年度も村民が安全で快適な生活ができる環境づくりに、これまで同様各集落の道路、排水路などの環境整備事業をはじめ、排水路の消毒及び煙霧消毒、また、野犬の捕獲、狂犬病予防注射を継続してまいります。一般廃棄物の処理については、衣食住及び社会構造の変化によって、排出されるゴミの種類も多種多様であります。このような状況下のもと、平成九年四月一日付で設立した中部北環境施設組合を拠点に減量化、安定化、安全化、資源化し、ゴミ処理を適切に行い環境にやさしい村づくりに努めてまいります。

(6) 上水道について

近年、世界的な通貨不安や国内の大手証券、銀行などの倒産による経済的不安定が続いている状況の中、県観光



を支える主要ホテルの客室稼働率は好調に持続しております。

これらの増加に伴い水使用量も増加し、平成九年十二月末では昨年のその時期を一〇%以上、上回っております。

また、国・県においても、水確保の努力により、近年は全体的な断水がなく、本事業の経営も安定をしているところであります。

平成十年度事業については、平成九年度に計画しておりました事業が口径等の変更による取り残し分を実施し、漏水の防止と計器類の点検等を強化し、さらなる経営の向上をめざします。

村民が豊かで 安心して暮らせるよう 恩納村地域総合福祉計画策定

9、村民福祉について

本格的な高齢社会を迎え、保健・医療・福祉の充実強化こそ、すべての村民が豊かで生きがいを持ち、安心して生活できる基本であります。

このため、平成十一年度を目標達成年度とする高齢者保健福祉政策の具体的方針やサービスの数値目標を定めた「恩納村老人保健福祉計画」に基づき、総合的に各分野の施策を展開してまいりました。今年度は、さらに同計画の一部見直し等を図るとともに障害者福祉計画、エンゼルプラン等を総合的に網羅した「恩納村地域総合福祉計画」を策定し、各分野を有機的に連携させた福祉施策を推進してまいります。

これらは、村民をはじめ、家庭、地域社会、関係団体等に計画の周知や理解を得るよう努めるとともにすべての村民が地域福祉活動への参加と協力の実践を促し、障壁のない福祉社会づくりに向けた施策を展開いたします。今後、高齢社会の進展とともに社会経済の変化、多様な行政需要等に対応できるよう調査、研究を重ねながら情報の収集に努めます。

(1) 老人福祉について
「老人保健福祉計画」に基づき、各サ



充実してまいります。

さらに、一人暮らしの高齢者に対し、毎日安心して生活できるよう「緊急通報システム事業」の改良のため、調査研究をすすめ緊急時に迅速・確実な支援体制のあり方等を「地域ケアネットワーク」の中で検討いたします。

(2) 心身障害者の福祉について

「恩納村地域総合福祉計画」を策定し、その中で心身に障害をもつ方々が普通に生活していけるよう平成十年度から平成十四年度までの数値目標を具体的に指示し、障害をもつ方々が自立と社会参加のための施策を関係機関団体の協力を得て創意工夫した事業が展開できるよう努め、また、医療費助成事業、補装具給付事業等も引き続き充実させていく計画であります。

(3) 児童福祉について

近年の出生率の低下、夫婦共働き世帯の増加、核家族化等により少子化傾向は一段と進行し、このことを受け、平成九年度に児童福祉法が大きく改正され、地域における子育て支援事業の充実化が求められている今日、村立の保育所運営については、乳児保育及び障害をもつ児童の保育、地域交流事業等を積極的にすすめる子育ての支援を図ります。

さらに老朽化した安富祖、山田保育所の改築のため調査に着手していることからよりよい保育所施設のあり方を研究してまいります。また、小学校低学年を対象とした青少年健全育成事業としての学童クラブ推進事業の調査研究に着手いたします。

また、母子父子家庭等の保健福祉の向

上を図るため、医療費助成事業等を積極的に推進してまいります。これらは、地域総合福祉計画の「エンゼルプラン」の中に位置づけ、二十一世紀を担う児童の育成に関係機関団体が連携して取り組めるよう施策の具体化を目指していきます。

このように各分野の施策を進めていくうえで地域福祉活動の担い手である民生委員、児童委員、民間福祉活動の中核的事業推進団体である社会福祉協議会とより一層連携を強化し、ボランティアの養成と活用を推進してまいります。また、障害をもつ方々の自立支援事業として、その就労のための職場開拓、授産施設等の誘致についても調査研究をすすめ、すべての村民の間に障壁のない地域づくりを目指してまいります。

(4) 介護保険について

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により常時介護を要する状態となり、介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、要介護者その他の医療を要する者に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行い、国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る目的で平成九年十二月十七日、介護保険法及び介護保険法施行法がそれぞれ公布されました。本年度は平成十二年度施行に向け、全国市町村において試行事業（モデル事業）が実施されることになっていま

10、国民年金について

国民年金事業は、急速な高齢化が進展していく中で、国民年金制度の村民生活に果たす役割はますます重要なものとなつてきています。しかし、本村においても、依然として相当数の国民年金未加入者や未納者が存在しており、村民一人一人の年金確保のための適用対策及び収納対策に積極的取り組み、無年金者発生防止に努めてまいります。

又、国民年金制度の周知を図るためには、地域に密着した広報の強化が必要であることから、あらゆる機会や広範な媒体を通じて年金制度のメリットを周知する等工夫された広報活動を実施いたします。

11、健康づくり推進事業について

村民が心身ともに健康で明るく日常生活ができるように日頃の健康づくりに努めてまいります。また、地域保健法の改正に伴い母子保健事業の妊産婦健診・乳児健診・一歳六ヶ月児健診・三歳児健診・予防接種・一般的な栄養指導等が市町村に移譲され実施しているところであり、なお、従来から実施している基本健康診査、胃ガン、子宮ガン、肺ガン、乳ガン、大腸ガン等諸検診受診率の向上に向け、健康教育や健康相談事業等についても積極的に取り組んで、村民の健康増進に務め、これらの活動拠点となる（仮称）総合保健福祉センターの建設を推進してまいります。



12、国民健康保険について

本村の国民健康保険加入世帯数が一、八六二世帯で加入率六二・三九％、被保険者数で四、八七四人で加入率五二・九一％となっております。

これまで村民の健康と医療費の確保に努めてまいりましたが、被保険者の高齢化に伴い医療費の増高が続いている現状にあつて国保財政の安定運営、充実強化を図ることが急務であります。このようなことから基盤となる収納率の向上に鋭意努力致します。

村 の 日 誌

2月18日(水)	恩納村自治公民館長研修会 ～20日 鹿児島県奄美大島
2月19日(木)	第8回東京体験学習 ～22日 東京都
2月19日(木)	第8回北海道石狩市交流体験学習 ～23日 北海道石狩市
2月22日(日)	第24回歩け歩こう大会 沖縄県民の森
3月2日(月)	恩納村区長常会 村役場
3月8日(日)	恩納村子ども会勤労体験学習 安富祖区
3月10日(火)	平成10年第2回恩納村議会（定例会） 恩納村議会
3月10日(火)	恩納村人権相談所開設 村コミュニティセンター
3月12日(木)	県立高校入学試験 ～13日 県内各高校
3月17日(火)	卒業式 (安富祖・喜瀬武原小学校・村内全中学校)
3月23日(月)	卒業式 (恩納・仲泊・山田小学校)

善意ありがとう

○村社会福祉協議会へ

屋良 朝栄様	宇山田1253番地の2	香典返し	100,000円
ルネッサンスリゾートオキナワ様			
チャリティーゴルフ・チャリティーバザー			140,000円
ホットスパ瀬良垣ビーチ前店様			4,613円
匿名（東京在）			2,000円



決勝戦	1対0
金武ジュニア	
3回戦	2対1
松田クラブ	
2回戦	11対2
屋嘉アトラス	
1回戦	8対2
宮野座ファイターズ	

安富祖少年クラブ、野球で初優勝
これまで、ソフトボール競技で九州や全国大会で活躍してきました安富祖少年クラブが、第十三回北部南少年野球大会で初優勝を飾りました。二月二十八日、二十九日の両日に開催された大会には、恩納村、金武町、宮野座村から十六チームが参加しました。安富祖少年クラブの試合結果は次のとおりです。

平成10年度おもな事業実施

- 防犯灯設置工事(総務課)各字
- 交通安全施設設置工事(建設課)各字
- 環境整備事業補助金(建設課)各字
- 安真志原農道舗装工事(L=220m,W=5m)(経済観光課)
- 西ボッコ農道舗装工事(L=380m,W=5m)(経済観光課)
- 山田幼稚園舎増改築工事(A=215㎡1階)
- 解体工事(A=215㎡1階)
- 併行防音工事(A=215㎡1階)
- (学校教育課)
- 真栄田岬コイン式シャワー取付工事(経済観光課)



計画

- 伊場土地改良区沈砂地埋め戻し工事(木工=2,050m、取付排水=210m)(経済観光課)
- 恩納漁港用地補修工事(経済観光課)
- 恩納小中学校校舎増改築工事(A=937㎡2階)
- 恩納小中学校校舎解体工事(A=143㎡1階)
- 恩納小中学校校舎併行防音工事(A=937㎡2階)(学校教育課)
- 恩納ナビの碑
- 万座毛
- 瀬良垣
- 太田
- 安富祖
- 名嘉真
- 喜瀬武原
- 喜瀬武原幼稚園舎冷房取付工事(電線引込L=500m、冷房取付2台)(学校教育課)
- 安富祖幼稚園舎増改築併行防音工事(A=215㎡1階)(学校教育課)
- 安富祖幼稚園舎仮設工事(A=160㎡1階)
- 安富祖幼稚園舎解体工事(A=215㎡1階)
- 村営住宅安富祖団地建設・電気・機械工事(RC2階3棟>A=977.5㎡)(建設課)
- 黒崎原線道路舗装工事(L=450m(土工=1,000m、舗装工事=1,960m、擁壁工=33.0m、排水工=870m)(建設課)
- 太田農道舗装工事(L=320m,W=5m)(経済観光課)
- 新庁舎建築工事
- 仮設浄化槽設置工事及び既設浄化槽撤去工事
- 防災無線移設工事(企画課)
- キャンプハンセン赤土流出工(志嘉座川貯溜型砂防ダム工事)(建設課)
- (堤頂長=51.5m、ダム高=14.5m、総貯水量=45,070㎡)
- 谷茶ボックス補修工事負担金(建設課)
- 仲泊内海理立工事(建設課)
- 梁1基(建設課)
- 2棟)
- 42㎡用地工V=620㎡)
- 垂川改修工事(L=324m橋)
- 真栄田漁港環境整備工事(植栽工一式、東屋=)
- 真栄田漁港東護岸及び埋立工事(護岸工L=)
- (経済観光課)

むらの話題

このコーナーでは、皆さんからの
便りをお待ちしています。

身近な話題や出来事、珍しい写真
など、お気軽にお寄せください。

966-8006 (内線200)



▲恩納中学校では、59人の生徒が卒業の日を迎えました



▲(株)沖縄海邦銀行代表取締役頭取湖城英知氏より洲鎌孝幹事長へ苗木が手渡されました



▲職員と参加した高齢者のみなさんがテーブルを囲み健康食に舌鼓を打ちました

歩くことは運動の基本です。

第二十三回恩納村歩け歩こう大会

最近、私たちの生活の中から歩くということが急激に少なくなっています。運動の基本である歩くということについて、もう一度考えようとして、第二十三回恩納村歩け歩こう大会(主催 村教育委員会)が2月22日、村内の親子連れが多数参加し行われました。

参加者は、村体育指導員によるストレッチング等の準備体操で体をほぐした後、県民の森

をスタートしました。途中、緑の映える山道や農道などを通り、喜瀬武原区、名嘉真区の自然景観に富んだ八キロのコースを三時間かけて元気に踏破し、仲嶺哲夫教育長より参加者全員に完歩証が手渡されました。時より顔を照らす太陽の下、昼食には各自が持ち寄った手作りの弁当を広げ、和やかなひとときを過ごしました。



▲8キロのコースを元気に踏破しました

バランス良い食事の採取を

食のふれあい交流会

石川保健所主催による食のふれあい交流会が2月19日、村婦人の家で行われました。同交流会は、一人暮らしの高齢者を対象に「食」について関心をもってもらい、望ましい食習慣を身につけてもらうことを目的に開催しているものです。

参加した高齢者は、石川保健所職員、村社協職員、村食生活改善推進員と共にフーリチー、かつま芋入りご飯、さんまのかばやき風、みそ汁の四品を調理しました。「食

事の工夫」と題した講話で同保健所福地信子栄養士は、「野菜を多く取り、バランス良い食事を心掛け、いつまでも健康な体を保つようにしましょう」と話しました。また、シルバームニッシュを試食したお年寄りは「スキミルク入りのみそ汁ですが、牛乳の香りも無く、味があって美味し」と健康食に舌鼓を打ちました。午後には、レクリエーションや体操等を行い、適度な運動と食をとおして交流を深めました。



▲食後には保健婦の指導の下、レクリエーションや体操等を行いました

緑を育む心を大切に

ふれあい植樹デー開催

ふれあい植樹デー(主催 沖縄花のカーニバル実行委員会)が2月22日、前兼久区民運動場で前兼久区民、役場職員らが多数参加し開催されました。

フラワーフェスタ98 県民一鉢運動の一環である同事業は、地域ぐるみで記念植樹を行い、自然に触れる楽しさと緑を育むことの大切さを実感してもらい、花と緑に対する高揚感を目的に開催しています。

主催者あいさつで洲鎌孝沖縄花のカーニバル実行委員会幹事長は

「本県観光の中心地に住まれる皆様の日頃の花いっぱい運動等の活動には心から感謝申し上げます」とお礼を述べ、また、比嘉茂政村長は「区民皆様の手で植木を丁寧に育てて下さい。将来、当区での桜の花見を楽しみにしています」とあいさつしました。山城久一前兼久区長のあいさつに続き、植樹が行われ、区民一人ひとりがショベルやヘラ等を片手にサクラ、ホウオウボク等の苗木を植え付けました。



▲約200本の苗木が植え付けられました

思い出と希望を胸に新たな出発

村内小中学校で卒業式

3月17日、23の両日、村内各小中学校で平成九年度卒業式が行われ、小学校百三名、中学校百四十七名が思い出と希望を胸に学び舎をあとにしました。

第五十回目になる恩納中学校の卒業式では、先生や在校生、父母の皆さんに迎えられた卒業生が整然と入場しました。出席者全員による校歌斉唱に続き、担任により卒業生一人ひとりが呼び上げられ、宮城清校長より

卒業証書が授与されました。式辞で宮城清校長は「思いやりのある心豊かなひとになってください。」と話し、また、卒業生を代表して伊波陽子さんが「恩納中学校の卒業生としての誇り忘れず、頑張ります」と答辞を述べました。式終了後には、在校生や保護者がアーチを作り、卒業生を見送りました。



▲恩師と固い握手で卒業を祝いました